

別冊資料 2

(教育費抜粋)

令和 2 年度

# 主要な施策に関する説明書

( 一 般 会 計 )

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和2年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和2年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、総額で約215億892万円、前年度に比べ約24%、金額にして約41億6千627万円の大幅な増となっています。

その主な要因は、特別定額給付金の給付や地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症対策関連事業の実施によるものですが、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き増加傾向にあります。

一方、厳しい財政状況が続く中、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、昨年度に引き続き高い水準で町税収入を確保することができ、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向けた都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会の実現を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2020」を定め、感染症拡大への対応と経済活動の段階的引き上げ―「ウイズコロナ」の経済戦略の実現に向けた新たな施策を展開すると共に、「新たな日常」が実現される地方創生を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、令和2年度は、第4次宮代町総合計画後期実行計画並びにまち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度として計画的に事業進捗を図るとともに、新たな10年の未来像「首都圏で人がいちばん輝く町」を未来像とする第5次宮代町総合計画及び前期実行計画を策定しました。

令和3年度は、第5次宮代町総合計画のスタートを切る大事な年度として、一つ一つの事業を町民の皆さんと一緒に丁寧に取り組んでまいりますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。

令和3年 8月26日

宮代町長 新井康之

## 令和2年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和2年度は、特別定額給付金の支給を始めとした新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか、高齢化を背景とする社会保障関連経費が引き続き増加する状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税は、納税義務者の増加による個人町民税の増及び新築家屋の増加による固定資産税、都市計画税の増を背景に町税全体では前年度に比べ増額となりました。また、各種交付金は、地方消費税交付金が交付原資（県税）の増に伴い増額となるなど、全体でも増額、地方交付税は、保育需要の拡大及び高齢者人口の増加等による普通交付税基準財政需要額の拡大等に伴い増額し、一般財源総額も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は、会計年度任用職員制度の開始により人件費が増額となったほか、幼児教育・保育無償化や高齢化を背景として社会保障関連経費が引き続き増加しました。投資的経費は、旧ふれあいセンターを新たな福祉交流拠点とするためのリニューアル工事の実施や、国庫補助を活用した小中学校情報通信ネットワーク整備工事や小中学生1人1台端末の整備等により大幅に増加しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、特別定額給付金や中小企業支援金の支給、緊急経済対策プレミアム付商品券の発行、新型コロナウイルスワクチン接種体制整備等の事業を実施しました。その結果、歳出総額は145億6,617万円となり、前年度に比べ43億3,862万円増額しています。

このような中、令和2年度は第4次宮代町総合計画後期実行計画の最終年度として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

「構想1 人、活動、地域をつなげる」では、直接の交流が難しい地域交流サロンに替えて、ビデオ会議によるつながり促進策としてスマートフォン体験会を開催しました。また、感染症対策を施した避難所の開設など実働的な避難所開設訓練を実施しました。

「構想2 交流人口を増やす」では、新しい村を舞台にグリーンツーリズム事業を実施し「農」あるまちづくりを町内外へPRすることで、宮代ファン（交流人口）の増加を図りました。

「構想3 定住人口を増やす」では、都心から郊外への移住意向の増加を捉え、宮代町での住み方を提案する特集記事や町の魅力を伝える記事などを制作して定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」で発信するとともに、宮代町への転入希望者を対象に公共施設等を案内するツアーの実施により、交流人口や定住人口の増に繋げる取り組みを行いました。

また、都市基盤整備として、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想4 産業を結び、活かし、広げる」では、町内外から起業を志す人材を呼び込むため、杉戸町との共催による「月3万円ビジネス講座」を開催しました。

「構想5 公共施設の機能と役割の再編」では、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について現行計画の検証を行うとともに、借地解消に向けた具体的取得計画に基づき、公用車駐車場の用地を取得しました。

令和3年度は、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の初年度として、第4次宮代町総合計画後期実行計画から引き継ぐ事業を含めて、これらに掲げた事業を着実に進めていくための取組を進めてまいります。

## 令和2年度 一般会計歳入歳出決算状況

### 歳入の状況

款 名	2年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,860,015	25.5	114	92,198
2 地 方 譲 与 税	90,898	0.6	3	576
3 利 子 割 交 付 金	3,294	0.0	0	148
4 配 当 割 交 付 金	17,410	0.1	1	△ 3,072
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	20,812	0.1	1	8,463
6 法 人 事 業 税 交 付 金	9,866	0.1	0	9,866
7 地 方 消 費 税 交 付 金	628,294	4.1	19	124,356
- 自 動 車 取 得 税 交 付 金	-	-	-	△ 20,174
8 環 境 性 能 割 交 付 金	12,589	0.1	0	6,483
9 地 方 特 例 交 付 金	47,779	0.3	1	△ 38,856
10 地 方 交 付 税	2,219,159	14.7	66	98,752
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,631	0.0	0	480
12 分 担 金 及 び 負 担 金	68,967	0.5	2	△ 45,796
13 使 用 料 及 び 手 数 料	32,363	0.2	1	△ 38,766
14 国 庫 支 出 金	5,186,163	34.2	153	4,012,765
15 県 支 出 金	798,573	5.3	24	95,785
16 財 産 収 入	19,572	0.1	1	1,620
17 寄 附 金	108,543	0.7	3	42,689
18 繰 入 金	564,872	3.7	17	△ 29,452
19 繰 越 金	549,577	3.6	16	△ 38,281
20 諸 収 入	218,362	1.4	6	△ 21,460
21 町 債	714,857	4.7	21	141,146
歳 入 合 計	15,176,596	100.0	450	4,399,470

令和3年3月31日現在人口  
33,792人

(単位 千円)

元年度		30年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
3,767,817	34.9	3,764,523	町民税の増等による増
90,322	0.8	86,244	交付原資（国税）の増
3,146	0.0	6,087	交付原資（県税）の増
20,482	0.2	16,921	交付原資（県税）の減
12,349	0.1	15,569	交付原資（県税）の増
0	-	0	新規
503,938	4.7	523,500	交付原資（県税）の増
20,174	0.2	36,677	自動車取得税（県税）の廃止に伴う皆減
6,106	0.1	0	交付原資（県税）の増
86,635	0.8	32,516	子ども・子育て支援臨時交付金の交付完了に伴う減
2,120,407	19.7	2,070,630	保育需要の拡大及び高齢者数の増等に伴う普通交付税の増
4,151	0.0	3,931	交付原資の増
114,763	1.1	148,799	幼児教育・保育無償化に伴う保護者負担金の減
71,129	0.7	70,440	新しい村の指定管理者制度移行に伴う使用料の減
1,173,398	10.9	953,454	新型コロナウイルス感染症対応臨時地方創生交付金及び特別給定額給付金給付事業補助金の交付による増
702,788	6.5	613,943	社会保障関連経費の増に伴う県負担金の増及び埼玉県ふるさと創造資金の交付による増
17,952	0.2	22,903	普通財産売払収入の増
65,854	0.6	68,435	和戸横町地区関連事業に関連する寄附金による増
594,324	5.5	576,151	土地開発基金及び下水道事業特別会計繰入金の減
587,858	5.5	514,499	前年度決算剰余金の減
239,822	2.2	217,855	プレミアム付商品発行事業の完了に伴う売上金の減
573,711	5.3	601,452	西原自然の森整備事業及消防団第3分団詰所改修事業の実施に伴う増
10,777,126	100.0	10,344,529	

## 歳出の状況

款名	2年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 議会費	101,991	0.7	3	1,969
2 総務費	5,089,416	34.9	151	3,454,449
3 民生費	4,152,941	28.5	123	247,800
4 衛生費	895,664	6.1	27	90,397
5 労働費	961	0.0	0	△ 144
6 農林水産業費	241,048	1.7	7	△ 22,660
7 商工費	234,575	1.6	7	128,311
8 土木費	1,143,410	7.9	34	177,017
9 消防費	562,683	3.9	17	△ 28,272
10 教育費	1,325,778	9.1	39	274,959
11 公債費	817,656	5.6	24	14,786
12 諸支出金	42	0.0	0	4
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	14,566,165	100.0	432	4,338,616

令和3年3月31日現在人口  
33,792人

(単位 千円)

元年度		30年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
100,022	1.0	98,197	議員改選に伴う欠員補充による議員報酬の増
1,634,967	16.0	1,742,476	特別定額給付金の給付による増 公共施設整備基金積立金の増
3,905,141	38.2	3,587,201	福祉作業所等施設整備に伴う負担金の増
805,267	7.9	796,975	新型コロナウイルスワクチン接種事業の開始に伴う増 医療機関等応援給付金の給付による増
1,105	0.0	3,050	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
263,708	2.6	250,486	新しい村森の市場「結」整備工事の完了に伴う減
106,264	1.0	56,606	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策プレミアム付商品券発行事業の実施による増
966,393	9.4	929,414	都市計画事業の進捗による増
590,955	5.8	503,364	消防団（第2分団）詰所建替工事の完了に伴う減
1,050,819	10.3	986,321	百間小学校校舎屋上防水改修工事の実施による増 小中学校情報通信ネットワーク整備工事の実施による増
802,870	7.8	802,512	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始に伴う増
38	0.0	68	
0	0.0	0	
10,227,549	100.0	9,756,670	

## 令和2年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	2年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,813,617	12.5	115,261
うち 職 員 給	1,129,147	7.8	△ 11,323
2 物 件 費	1,691,758	11.6	129,376
3 維 持 補 修 費	63,086	0.4	2,611
4 扶 助 費	2,121,626	14.6	195,769
5 補 助 費 等	5,426,421	37.3	4,119,178
一部事務組合に対するもの	972,253	6.7	28,008
そ の 他	4,454,168	30.6	4,091,170
6 普 通 建 設 事 業 費	988,910	6.8	246,610
補 助 事 業 費	199,650	1.4	△ 167,635
単 独 事 業 費	733,931	5.0	365,756
県 営 事 業 負 担 金	55,329	0.4	48,489
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	817,656	5.6	14,787
8 積 立 金	367,344	2.5	25,943
9 投 資 及 び 出 資 金	30,000	0.2	30,000
10 貸 付 金	250	0.0	△ 150
11 繰 出 金	1,245,497	8.5	△ 540,769
合 計	14,566,165	100.0	4,338,616



(単位 千円)

元年度		30年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1,698,356	16.6	1,607,069	会計年度任用職員制度の開始に伴う増
1,140,470	11.2	1,085,308	各種選挙の執行完了に伴う減
1,562,382	15.3	1,466,780	新しい村の指定管理者制度移行に伴う増 小中学校GIGAスクール環境整備に伴う備品購入による増
60,475	0.6	56,542	道仏土地区画整理事務所撤去に伴う増
1,925,857	18.8	1,788,997	学童保育所の指定管理者制度移行に伴う増 幼児教育・保育の無償化に伴う増
1,307,243	12.8	1,319,346	
944,245	9.3	951,283	久喜宮代衛生組合負担金の増
362,998	3.5	368,063	特別定額給付金の給付に伴う増
742,300	7.3	537,505	
367,285	3.6	117,944	東武動物公園駅東口整備事業の進捗による減
368,175	3.6	415,775	福祉作業所等施設整備に伴う増 消防団（第3分団）詰所改修工事に伴う増
6,840	0.1	3,786	東武動物公園駅東口周辺整備事業にかかる街路事業負担金の増
0	0.0	0	
0	0.0	0	
802,869	7.9	802,512	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始等に伴う増
341,401	3.3	387,190	公共施設整備基金積立金の増
0	0.0	0	
400	0.0	6,000	
1,786,266	17.4	1,784,729	下水道・農業集落排水事業特別会計の企業会計法適用に伴う減
10,227,549	100.0	9,756,670	

## 地 方 債 現 在

区 分	令和元年度末 現在高 A	令和2年度 発行額 B
1 普 通 債	2,777,229	306,800
(1) 総 務 債	413,432	20,600
(2) 民 生 債	620,155	100,000
(3) 衛 生 債	417,791	
(4) 土 木 債	1,025,564	84,800
(5) 消 防 債	54,860	42,600
(6) 教 育 債	245,427	58,800
2 そ の 他	5,815,258	408,057
(1) 減 税 補 て ん 債	79,774	
(2) 減 収 補 て ん 債		30,700
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,735,484	377,357
合 計	8,592,487	714,857

## 地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借入先 \ 利率別	平成元年度末 現在高	令和2年度 発行額	令和2年度 元金償還額	令和2年度末 現在高
	A	B	C	D(A+B-C)
1 財 務 省	3,924,482	498,057	384,936	4,037,603
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	269,341		25,368	243,973
3 地方公共団体金融機構	3,216,243	42,600	200,381	3,058,462
4 市中銀行等	1,012,298	53,600	135,675	930,223
5 共済組合等	30,473		5,115	25,358
6 埼 玉 県	139,650	120,600	10,750	249,500
合 計	8,592,487	714,857	762,225	8,545,119

## 高 の 状 況

(単位 千円)

令和2年度 元金償還額 C	令和2年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
275,983	2,808,046	1,242,651	1,565,395
35,759	398,273		398,273
53,413	666,742	325,819	340,923
36,090	381,701	111,244	270,457
111,704	998,660	775,488	223,172
2,826	94,634		94,634
36,191	268,036	30,100	237,936
486,242	5,737,073	3,038,925	2,698,148
20,420	59,354	59,354	
	30,700	30,700	
465,822	5,647,019	2,948,871	2,698,148
762,225	8,545,119	4,281,576	4,263,543

## 利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和2年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,829,103	34,818	161,757	4,417	3,869			3,639	
79,484		164,489						
2,497,696	545,367	4,731	4,852	3,821			1,995	
722,043	208,180							
25,358								
249,500								
7,403,184	788,365	330,977	9,269	7,690			5,634	

## 令和2年度 決算状況総括表

### 1 決算収支の状況

(単位 千円)

	2年度	元年度	30年度
歳入総額 A	15,176,596	10,777,126	10,344,529
歳出総額 B	14,566,165	10,227,549	9,756,670
歳入歳出差引額 (A - B) C	610,431	549,577	587,859
翌年度へ繰越すべき財源 D	124,744	74,808	90,640
実質収支 (C - D) E	485,687	474,769	497,219
単年度収支 F	10,918	△ 22,450	67,693
財政調整基金積立金額 G	237,643	248,831	215,125
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	298,237	260,594	130,909
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 49,676	△ 34,213	151,909

### 2 基金の現在高

(単位 千円)

	2年度	元年度	30年度
財政調整基金	1,084,257	1,144,851	1,156,614
(主な増減理由) 財源調整のための取り崩しによる減			
減債基金	3,515	3,514	3,514
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	607,687	559,255	545,807
(主な増減理由) 宮代和戸横町土地区画整理事業の財源としての積み立てによる増			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	4,261	3,606	4,991
(主な増減理由) 前年度決算剰余金の積み立てに伴う増			
宮代まちづくり基金	59,158	86,381	87,929
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	328,778	328,736	381,586
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	18,305	19,628	25,321
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
森林環境譲与税積立基金	4,914	1,572	0
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立てによる増			
合 計	2,110,875	2,147,543	2,205,762

### 3 財政指標

	2年度	元年度	30年度
実質公債費比率	6.3%	6.5%	6.5%
将来負担比率	6.5%	4.1%	7.4%
財政力指数	0.633	0.635	0.636
経常収支比率	91.9%	94.0%	93.7%
実質収支比率	7.0%	7.1%	7.5%
標準財政規模	6,994,050千円	6,710,416千円	6,667,171千円

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は15ページを参照ください)

### 4 人口

(単位 人)

	2年度	元年度	30年度
住民基本台帳	33,792	33,969	33,971

### 5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人口	34,163	33,705	33,641
第1次就業人口	-	315	353
第2次就業人口	-	3,551	3,499
第3次就業人口	-	10,861	11,221
(分類不能)	-	854	606

※令和2年国勢調査については、令和3年6月25日に公表された速報値を掲載しています。

### 6 職員数等の状況

	2年度	元年度	30年度
(一般職員) 職員数	186人	180人	172人
平均年齢	44.02歳	45.20歳	45.06歳
一人当たりの給料月額	317,492円	322,958円	327,941円
ラスパイレス指数	94.3	94.1	94.6

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体(市町村など)の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

## 人権尊重平和事業

[人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理運営事業]

人権推進室 内線 210  
 学校教育担当 内線 423  
 生涯学習室 内線 431

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,735,000	3,928,918	34,000	50,000	0	1,018	3,843,900

### ◎ 令和2年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催し、平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民とともに普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための第3次男女共同参画プランの策定に向け、住民意識調査を実施しました。

### <実施内容>

#### ■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

①教職員人権教育研修会 8月26日 コミュニティセンター進修館大ホール

②人権作文発表会と人権教育研修会 12月4日 笠原小学校

③人権問題合同研修会

1月25日 コミュニティセンター進修館大ホール

講演テーマ：人権の現状と課題 講師：水島輝彦氏(埼葛郡市人権施策推進協議会理事)

#### ■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

#### ■男女共同参画セミナーの実施(YouTubeによるオンライン動画配信)

テーマ：コロナ禍の今、見えづらくなるDV(ドメスティック・バイオレンス)

講師：並木利美子氏(八潮市家庭児童相談員)

実施日：令和3年2月24日(水)～3月19日(金)

申込者数：30人

視聴数：164回

あなたや子どもの心にトゲ刺さっていませんか?  
 あなたらしく生きるために

オンライン動画配信

コロナ禍の今、見えづらくなるDV  
ドメスティック・バイオレンス

講師 並木 利美子さん 八潮市家庭児童相談員  
 東京府豊島区生まれ。前職のDVと虐待、学校でのいじめなど、子どもの心の健康から命の安全まで、被害の予防の必要性について、自身の体験をもとに分かりやすくお話しします。

配信期間  
 2021年2月24日(水)～3月19日(金)

YouTube 申込要  
 申込期間 3月15日



#### ■男女共同参画情報誌「ふらふらぷ」の発行

男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画社会推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。

また、広報みやしろ3月号の特別付録として広報紙に折り込み全戸配布しました。

### ■第3次男女共同参画プラン策定のための住民意識調査の実施

第3次男女共同参画プランの策定にあたり、様々な年代の意識を把握しプランに反映するため、アンケート調査を実施しました。

成人	調査期間	令和2年11月24日～12月15日	
	対象者	町内在住18歳以上、800人を住民基本台帳から無作為抽出	
	回収率	52.0%	
小中学生	調査期間	令和2年11月2日～11月18日	
	対象者	中学2年生	229人
		小学5年生	254人
	回収率	中学2年生	93.9%
小学5年生		94.1%	
町職員	調査期間	令和2年12月21日～12月25日	
	回収率	99.5%	

### ■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

#### ①職員対象人権・男女共同参画研修の実施

様々な人権に関する理解を深めることを目的に職員を対象とした研修会を開催しました。  
 テーマ：性の多様性／LGBTについて  
 講師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）  
 実施日：令和3年2月5日（金）午前・午後 計2回  
 参加者：44人

#### ②職員向け性的少数者（LGBT等）に配慮した対応ガイドラインの策定

性的少数者（LGBT等）への正しい知識の習得と適切な対応や支援について、職員として取り組むべき姿勢と考え方に関するガイドラインを配布しました。

#### ③性的少数者（LGBT等）に関する啓発

レインボーカラーの缶バッジを作成し、研修を受講した職員に配布し、性的少数者（LGBT等）にとって職員が安心できる存在であることの目印としました。また、総務課人権推進室の窓口に性的少数者（LGBT等）の理解促進のためのマークを掲示しました。



### ■ドメスティック・バイオレンスに関する職員研修の実施

ドメスティック・バイオレンス被害者支援を適切かつ迅速に行うために、ドメスティック・バイオレンスに関する知識と理解を深め、支援体制の充実を図ることを目的に職員対象に研修会を開催しました。

宮代町ドメスティック・バイオレンス被害者支援連携担当者会議 12月3日

## ■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として行ってきた「朗読劇『私たちと原爆』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そのため、「みやしろ平和展」として「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」に併せて、郷土資料館所蔵の戦争関係資料による「～75年前のみやしろ～戦争と平和展」を開催しました。

開催期間：令和2年7月18日（土）～8月10日（月）

場 所：町立図書館展示ホール



## ★ 後期実行計画の目標とその工程

市民が、まちづくりへの取り組みや普段の生活の中で、互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会の実現を図るため、人権尊重をまちづくりの基本に据えて、行政と市民が一体となって取り組んでいきます。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	R1	R2
人権教育研修会、出前講座の実施	総務課 教育推進課					
男女共同参画セミナーの実施	総務課					
平和パネル展、平和啓発事業の実施	総務課					

### 後期実行計画の成果目標(令和2年度)

住民意識調査のまちづくり満足度向上:「人権擁護、男女共同参画の取り組み」について  
平成26年度 22.6% ▶▶▶ 令和2年度 40%



2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
75,010,000	21,121,199	0	0	20,600,000	0	521,199

◎ 令和2年度の事業実績(成果)

「公共施設マネジメント計画」に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。また、「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づき、地権者と交渉を行い、一部を買収しました。

<実施内容>

■小中学校の適正配置

324,599円

昨年度に引き続き、宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会を5回開催し、現行の小中学校適正配置計画等の検証を行いました。

■「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づく用地の取得

20,796,600円

借地の解消については、「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づき、公用車駐車場の用地(606㎡)を取得しました。

★ 後期実行計画の目標とその工程

近い将来に訪れる更新時期を前にして、人口減少、少子高齢化が進んでおり規模の面からも、財政負担の面からも現状と同様のフレームでの施設更新は適切ではありません。次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	R1	R2
公共施設等総合管理計画の策定	企画財政課	■				
小中学校適正配置・公共施設再編	教育推進課 関係課	■				
借地の解消	企画財政課	■				

後期実行計画の成果目標(令和2年度)

公共施設等総合管理計画の策定

# 教 育 推 進 課

## ■ 本年度の成果

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の影響による小中学校の臨時休業、公共施設の臨時休館等、これまでに経験したことのない状況下での学校教育活動、生涯学習活動となりました。

そのような状況下にあっても、必要な感染対策を講じ創意工夫を図ることで、次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、郷土資料館・総合運動公園・図書館等の各公共施設も、新しい生活様式に基づく各種感染症対策を行い、一定の制限を設けることで、町民の皆様へ施設サービスを提供できるよう管理運営に努め、当町の教育の基本理念である「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を実現するべく各種事業に取り組み、次のような成果をあげることが出来ました。

### 1. 教育総務・学校教育

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながら、例年同様の教育活動が実施できるように努めてまいりました。

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、18年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性を持って、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、昨年度動画等による交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを行うことができました。

環境教育においても、兄弟姉妹関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童生徒だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、コロナ禍の中、学校評議員会を開催し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、登校状況が改善されたケースも見られました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、G I G Aスクール構想の実現に向け、小中学校の大容量通信ネットワーク整備及び児童・生徒1人1台の情報端末の整備を行い、学校のI C T環境の充実を図りました。また、新型コロナウイルス対策として、国庫補助金を活用し、衛生面での改善を図るための体育館トイレの洋式化や全ての校舎トイレの薬品洗浄、換気強化のための校舎網戸設置等を実施しました。

学校給食では、新しい生活様式に基づく給食のルールを設定し、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和2年度には米類20.8トン、野菜等11.3トン、合わせて33品目、32.1トンを使用しました。

公共施設再編第2期計画では、昨年度に引き続き宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会を開催し、現行の適正配置計画等の検証を行いました。

## 2. 生涯学習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民文化祭を始めとする多くの事業が中止となりました。その中でも、成人式は会場を東武動物公園の屋外施設に変更して開催し、今後の式の在り方を考える良い機会となりました。また、公民館では休館や利用の一部制限を実施したため、利用者が前年度よりも21,000人以上の大幅な減少となりました。一方で、館内の空調や換気設備の工事、空気清浄機の設置、感染予防のための衛生資材を整備するなど感染予防の強化に努めました。

## 3. 町立図書館

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開館日数が前年度より100日以上的大幅な減少となり、自主事業も中止や参加人数の回数等を縮小して開催しました。

施設では閲覧席や窓口カウンターへの飛沫拡散防止パネルの設置、書籍除菌機の追加設置、感染予防のための衛生資材を整備するなど感染予防の強化に努めました。

図書等の所蔵数においては、前年度より視聴覚資料は減少したものの、図書数は2,956冊増加しました。また、コロナ禍における読書環境の強化を図るため、児童書、一般書ともに電子書籍の充実に力を入れました。

## 4. スポーツ振興

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民体育祭をはじめとする多くの事業が中止となりました。

体育施設では、総合運動公園の年間の利用者総数が前年度より95,000人以上の大幅な減少となり、宮東テニスコートなどの各グラウンドや各小中学校のグラウンドや体育館の学校開放施設の利用者数も大幅に減少となりました。

総合運動公園では、総合体育館の更衣室シャワールームの換気扇工事や内部壁の張替え、空気清浄機の設置など感染予防備品を整備し、感染予防に努めました。

## 5. 文化財保護

郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、夏休み体験学習を始めとする多くの事業が中止となり、年間の利用者数が前年度より約6,000人以上の大幅な減少となりました。また、旧斎藤家側入口の借地の一部の返還に伴う舗装工事や石畳の撤去、移設を行い、周辺を整備しました。

文化財保護事業では、個人住宅等の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、過去の発掘調査で昭和63年度地蔵院遺跡第1次調査、平成29年度道仏遺跡、平成29年度、令和元年度姫宮神社遺跡調査、平成26年度地蔵院遺跡調査などで出土した遺物の整理作業や図面等の作成を行い、報告書刊行に向けての準備を進めました。また、昭和63年度地蔵院遺跡第1次発掘調査の成果を「宮代町文化財調査報告書第24集 地蔵院遺跡（第1次）」として刊行しました。

## ■ 令和2年度後期実行計画

人権尊重平和事業	37
公共施設再編第2期計画	61

## ■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	181
不登校対策事業	182
小中一貫教育推進事業	182
町民みんなが先生推進事業	184
英語教育推進事業	184
小学校施設管理事業	185
小学校要準特別支援教育就学援助事業	185
小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	186
小学校環境教育推進事業	186
中学校施設管理事業	187
中学校要準特別支援教育就学援助事業	187
中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	188
学校給食運営管理事業	188
社会教育活動事業	189
人権教育推進事業	190
青少年健全育成事業	191
公民館管理運営事業	192
図書館管理運営事業	193
総合運動公園管理事業	195
社会体育施設維持管理事業	197
生涯スポーツ振興事業	198
文化財保護事業	200
埋蔵文化財発掘調査事業	201
資料館管理運営事業	203

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
342,000	134,940	0	0	0	0	134,940

### [主な実施内容]

#### ■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

#### ■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

#### ■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在121軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後時において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆け込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

#### ■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校254人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

### [成 果]

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

## 不登校対策事業

[学校教育担当] 決算書 P158

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
126,000	88,920	0	0	0	0	88,920

※会計年度任用職員制度移行のため、事業実施に係る人件費については、教育事務局人件費より支出

### [主な実施内容]

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引き続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

### [成果]

令和2年度の不登校の児童生徒は13人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー4人の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.13%、中学校においては1.56%です。

## 小中一貫教育推進事業

[学校教育担当] 決算書 P160

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
260,000	217,183	0	0	0	0	217,183

※会計年度任用職員制度移行のため、事業実施に係る人件費については、教育事務局人件費より支出

### [主な実施内容]

#### ■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1回目は中止となりましたが、第2回目の宮代町立小中学校一貫教育推進委員会を実施し、その話し合いの結果を生かし、宮代町の小中一貫教育を推進につなげました。

須賀小・中学校では、「力いっぱい!」「全力」を合言葉に、それぞれが9か年を見通すことを意識して「学習ガイド」の作成や「挨拶運動」の実施、授業研究会の参観を行いました。児童生徒の交流はできませんでしたが、オンラインを活用した発表会を行いました。

また、東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランを策定し、9年間で目指す子供像を「自ら考え、主体的に学ぶ子」「自他をおもいやる子」「心身ともにたくましい子」とし、小中学校9年間の育ち、学びの連続性を重視した指導の充実を図りました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童生徒、教職員の交流の多くが実施できませんでしたが、

出前授業を実施することができました。

さらに、百間小学校・前原中学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童生徒、教職員の交流はできませんでしたが、目指す児童生徒の学習や生活の姿を小中一貫教育推進計画（Mプラン）としてまとめ、小・中学校で一貫してめざす児童生徒の学習や生活の姿を示し取り組みました。

### ■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向け取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインや動画による交流をしました。

### ■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

## [成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。コロナ禍ではありましたが、中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業が始まりました。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使っでの授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。



**町民みんなが先生推進事業**

〔学校教育担当〕 決算書 P160

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
884,000	841,185	0	433,000	0	0	408,185

**【主な実施内容】**

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で15人の方々が小中学生の指導を行いました。

**【成 果】**

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

**英語教育推進事業**

〔学校教育担当〕 決算書 P160

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,923,000	15,988,452	0	0	0	2,500,000	13,488,452

**【主な実施内容】**

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

**【成 果】**

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区でオンラインや動画で開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

## 小学校施設管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P164

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
479,533,000	236,008,226	102,769,725	0	43,400,000	49,480	89,789,021

※令和元年度からの繰越分を含みます。

※令和2年度予算のうち、169,169,000円を令和3年度に繰り越しています。

### 【主な実施内容】

#### ■町内各小学校の施設整備・改修・修繕（主なもの）

内 容	契約期間	金額(円)
非構造部材耐震改修設計業務委託	R2.6.24～R3.2.26	6,206,200
東小学校教室新設工事設計業務委託	R2.12.25～R3.3.31	9,185,000
小学校校舎屋上防水工事（百間小、東小）	R2.6.24～R2.9.30	26,103,000
新型コロナ対策校舎改修工事（体育館トイレ改修、網戸設置）	R2.8.17～R2.12.25	6,692,429
【R元繰越】小中学校校内通信ネットワーク整備工事	R2.6.22～R3.3.31	43,280,600
小中学校児童生徒1人1台情報端末整備	R2.12.9～R3.3.19	65,505,440

### 【成 果】

経年劣化した校舎等の計画的な改修等を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策のための各種改修工事等を行うことで、教育活動と感染対策の両立が可能となるよう改善を図りました。

また、校内の通信ネットワーク及び児童生徒1人1台の情報端末を整備することで、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境を大きく向上させました。

さらに、児童数の増加による普通教室の不足を解消するため、東小学校校舎新設工事に係る校舎の設計業務を行いました。

## 小学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,339,000	10,354,350	264,180	0	0	0	10,090,170

### 【主な実施内容】

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

### 【成 果】

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は139人（7,486,679円）となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は25人（654,541円）となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給を平成29年度から開始しました。事前支給者は39人（2,213,130円）となりました。

## 小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業

〔学校教育担当〕

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

※会計年度任用職員制度移行のため、事業実施に係る人件費については、教育事務局人件費より支出

### 【主な実施内容】

#### ■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を、全小学校で6人配置し、学習内容や児童の状況に応じた指導を行いました。

### 【成 果】

非常勤講師の配置により、担任と協力しながらチームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導を充実させることができました。特に算数の指導において、各学校とも担任と非常勤講師が連携を図り、児童の伸びや課題を明確にし、児童一人一人の実態に応じた指導を行うことで、基礎・基本の定着を図ることができました。

## 小学校環境教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,000	830	0	0	0	0	830

### 【主な実施内容】

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

### 【成 果】

令和2年12月9日、進修館大ホールと各校をオンラインでつなぎ「宮代町キッズエコサミット」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をとおして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」もオンラインで開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小・中学生が取り組み、「掃除機を使わず雑巾で掃除した」「電気を消して、ろうそくの明かりでご飯を食べた」など子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

また、1月は、「宮代冬の江戸の日」として、町内全小・中学生が「軽いストレッチや運動で体をあたためる」「洗濯機を使わず手洗いをする」などの取組が見られました。

## 中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P172

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
186,508,000	125,562,097	64,595,542	0	15,400,000	2,950	45,563,605

※令和元年度からの繰越分を含みます。

※令和2年度予算のうち、4,662,000円を令和3年度に繰り越しています。

### [主な実施内容]

#### ■町内各中学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
非構造部材耐震改修設計業務委託	R2.6.24~R3.2.26	4,683,800
体育館内通信ネットワーク整備工事	R2.10.1~R3.3.12	3,284,600
新型コロナ対策校舎改修工事(体育館トイレ改修、網戸設置)	R2.8.17~R2.12.25	4,879,571
【R元繰越】小中学校校内通信ネットワーク整備工事	R2.6.22~R3.3.31	24,039,400
小中学校児童生徒1人1台情報端末整備	R2.12.9~R3.3.19	35,857,030

### [成 果]

経年劣化した校舎等の計画的な改修等を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策のための各種改修工事等を行うことで、教育活動と感染対策の両立が可能となるよう改善を図りました。また、校内及び体育館の通信ネットワーク及び児童生徒1人1台の情報端末を整備することで、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境を大きく向上させました。

## 中学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P174

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,161,000	6,274,267	92,820	73,000	0	0	6,108,447

### [主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

### [成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は84人(6,061,398円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は8人(212,869円)となりました。

## 中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業

〔学校教育担当〕

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

※会計年度任用職員制度移行のため、事業実施に係る人件費については、教育事務局人件費より支出

### 【主な実施内容】

#### ■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を、全中学校で4人配置し、学習内容や生徒の状況に応じた指導を行いました。

### 【成 果】

非常勤講師の配置により、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、学習指導を充実させることができました。

その教科が苦手な生徒や理解に時間がかかる生徒等、個別に支援が必要な生徒への指導を充実させることができました。特に数学に関しては、少人数指導や習熟度に応じた指導等を充実させ、生徒の基礎学力の定着を図ることができました。

## 学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P188

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
315,628,000	308,527,677	3,955,764	0	0	102,300,717	202,271,196

### 【主な実施内容】

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を5回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

新型コロナウイルス対策としては、新しい生活様式に基づく給食のルール（同一方向を向いての黙食、配膳の盛り切り等）を定め感染拡大防止に努めるとともに、臨時休業中の児童、生徒及び保護者を支援するため、学校給食センターで調理した弁当を希望する児童・生徒に無償提供する「みやしろ児童・生徒食生活支援事業」を実施しました。

#### ■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和2年度	令和元年度	30年度
品 目 数	33品目	32品目	32品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 20.8 トン 野菜等 11.3 トン	米 20.4 トン 野菜等 12.9 トン	米 23.3 トン 野菜等 10.9 トン

## [成 果]

### ・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

### ・アレルギー対策

食物アレルギーを持っている児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

### ・新型コロナウイルス感染症対策

新しい生活様式に基づく給食ルールの設定、手指消毒器の増設及び牛乳パックの回収方法の変更等の感染拡大防止対策に取り組みました。

## 社会教育活動事業

[生涯学習室]

決算書 P 176

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,371,000	736,909	473,000	0	0	0	263,909

## [主な実施内容]

### ■みやしろ大学

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなどを開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての講座が中止になりました。

### ■町民文化祭

宮代町文化協会との共催により、進修館を会場に舞台発表や作品展示を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

### ■成人式 (令和3年1月10日 (日))

719,600円

県内初となるレジャーランド「東武動物公園」での成人式を開催しました。企画、運営は新成人で構成される成人式実行委員会により行われ、202人の新成人が参加しました。

## [成 果]

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、感染リスクが高いとされる高齢者の参加が多く、また十分な三密対策を取った開催が困難となった、みやしろ大学及び町民文化祭が中止となりました。一方、成人式では、東武レジャー企画(株)の協力により、屋外施設である東武動物公園イベントステージHOLA!(オーラ!)を会場に、県内初となるレジャーランドでの開催となりました。十分な感染症対策を施したうえで、新たな宮代スタイルとなる成人式を開催することができました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
925,000	576,120	0	0	0	0	576,120

**[主な実施内容]**

■子ども人権講座の開催 40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなっ  
て見えたもの」を開催し、217人が受講し、命の大切さについて学ぶことが  
できました。

■人権文集（あおぞら第26集）の発行 94,861円

小中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、オンラインを併用して開催した作文発表会には、会場校の5、6年生122人、一般14人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成 279,200円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

**[成 果]**

子ども人権講座では、講師から視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話してもらい、子どもたちにとって生きることの示唆をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子どもたち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
130,000	129,803	0	0	0	11,300	118,503

**[主な実施内容]**

**■子ども大学みやしろ**

小学校4～6年生を対象に、日本工業大学及び町内活動団体と連携し、子どもの学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で子どもを育てる取組として平成23年度に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止の観点からすべての講座が中止となりました。

**■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会**

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催するものです。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から両大会は中止となりました。

**■宮代町青少年相談員の活動**

令和2年7月に予定していた、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」でのサマーキャンプは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

**■放課後子供教室**

30,803円

国の「放課後子ども総合プラン」及び町の「宮代町子ども子育て支援事業計画」に基づき、①放課後に安心して過ごせる居場所の確保、②地域住民との交流、③スポーツや文化活動等の体験機会の提供を目的に実施するものです。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての事業が中止となりました。

**■宮代町青少年健全育成推進員の活動**

99,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東武動物公園西口での、青少年非行防止キャンペーンや8月の青少年非行防止夜間パトロールが中止となりました。11、12月の有害図書等取扱店舗の巡視活動を実施しました。

期 日	内 容
11月20日	町内コンビニエンスストア6店舗を巡視
12月9日	町内公共施設などを中心に22箇所を巡視

**[成 果]**

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から多くの事業が中止となりました。



2 年度予算 (円)	2 年度決算 (円)	2 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
22,452,000	20,920,404	15,472,000	0	0	1,770,890	3,675,514

**[主な実施内容]**

■公民館の利用状況

令和2年度は、百間公民館248日、川端公民館258日、和戸公民館252日開館し、3館で合計28,346人が利用しました。

		2 年度 A	増減 A-B	元年度 B	30 年度
百間公民館	利用回数	1,032	△483	1,515	1,508
	利用人数	8,640	△7,999	16,639	17,105
川端公民館	利用回数	1,430	△592	2,022	2,082
	利用人数	10,144	△8,162	18,306	18,937
和戸公民館	利用回数	1,270	△458	1,728	1,751
	利用人数	9,562	△5,573	15,135	15,843
合 計	利用回数	3,732	△1,533	5,265	5,341
	利用人数	28,346	△21,734	50,080	51,885

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月1日～5月31日まで休館。

■施設の主な工事等

工 事 名	金額 (円)
川端公民館駐車場舗装工事	2,156,000
川端公民館空調換気工事	4,070,000
百間公民館空調換気工事	5,644,100
和戸公民館ロスナイ設置工事	3,105,300
トイレ自動洗浄装置等設置工事	483,000

**[成 果]**

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

また、川端公民館において、公民館駐車場の大雨時の水たまり対策として、舗装工事を実施したほか、新型コロナウイルス感染症対策として、百間公民館、川端公民館のエアコン換気工事（和戸公民館は令和元年度に実施済）を実施し、百間公民館、川端公民館、和戸公民館に換気設備の設置工事を実施しました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
95,515,000	95,402,932	9,554,000	0	0	31,320	85,817,612

**[主な実施内容]**

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

**■図書館の利用状況**

	2年度 A	増減 A-B	元年度 B	30年度
開館日数(日)	181	△107	288	290
貸出者数(人)	49,361	△31,334	80,695	91,990
うち広域対象	14,245	△9,075	23,320	34,605
貸出冊数(冊・点)	167,657	△115,301	282,958	331,892
うち広域対象	43,836	△34,036	77,872	128,254

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月8日から5月21日まで及び令和3年1月6日から3月21日まで休館。3月6日から一部サービスを中止。

**■図書等の所蔵数の状況**

	2年度 A	増減 A-B	元年度 B	30年度
図書(冊)	265,203	2,956	262,247	260,234
うち一般書	202,079	2,068	200,011	198,889
うち児童書	63,124	888	62,236	61,345
視聴覚資料(点)	8,001	△149	8,150	8,078
合計	273,204	2,807	270,397	268,312

**■各種行事等の実施状況**

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例(定期)行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ1,192人が参加しました。

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、4月～6月、1月、2月に予定していた事業は中止しました。その他の月においても行事内容により中止としたものがあります。

**【月例行事】**

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全3回	38人
紙芝居と折り紙	全4回	54人
おはなし会	全11回	166人
子ども映画会	全7回	164人
ライブラリーシアター	全6回	94人
ナクソス音楽会	全6回	42人

ブックスタート事業	全 11 回	231 人
-----------	--------	-------

### 【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
夏休み子ども平和映画会	8月9日(日)	4人
夏休みおはなし工作会	8月10日(月・祝)	14人
落語を楽しむ会(DVD)	9月18日(金)	11人
雑誌リサイクル市	10月3日(土)、4日(日)	100人
図書リサイクル市	10月10(土)・11日(日)	100人
クリスマスお楽しみ会	12月20日(日)	60人

### 【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
夏休み親子調べ学習ワークショップ	8月1日(土)、2日(日)	20人
バリアフリー映画会	10月21日(水)	45人
大人のための16ミリ映画会	11月3日(火)	36人
東洋大学出張講座「ウイルス排除に大切な免疫力」	11月21日(土)	13人

### 【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供によって、利用者アンケートの総合評価においても、回答者の約90%の方から「満足」又は「おおむね満足」の評価をいただきました。

令和2年度は、年度当初から新型コロナウイルス感染症による影響を受け、施設の臨時休館や行事の中止がありましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、閲覧席の飛沫防止パネルや貸出図書の除菌機設置など感染防止のための設備を整備しました。

また、日本工業大学と連携し、図書館南側のテラスで使用できるイスやテーブルの製作に着手し、テラス活用に向けた新たな試みがスタートしました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
99,237,000	99,193,445	25,619,000	0	0	213,510	73,360,935

### 〔主な実施内容〕

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

#### ■総合運動公園の利用状況

令和2年度は272日開園し、123,609人が利用しました。

		2年度 A	増減 A-B	元年度 B	30年度
テニスコート	利用件数	2,726	△321	3,047	3,025
	利用人数	18,964	△3,228	22,192	24,078
多目的広場	利用件数	136	14	122	149
	利用人数	6,656	△990	7,646	10,199
野球場	利用件数	156	△62	218	265
	利用人数	10,980	△2,588	13,568	18,249
ソフトボール場	利用件数	169	△9	178	186
	利用人数	3,856	△1,717	5,573	5,358
メインアリーナ	利用件数	1,047	△460	1,507	1,317
	利用人数	17,897	△16,724	34,621	30,473
サブアリーナ	利用件数	856	△558	1,414	1,300
	利用人数	10,198	△9,920	20,118	21,012
剣道場	利用件数	371	△287	658	616
	利用人数	5,988	△8,000	13,988	15,897
柔道場	利用件数	340	△163	503	505
	利用人数	3,497	△5,598	9,095	8,531
弓道場	利用件数	576	△611	1,187	1,169
	利用人数	2,718	△2,216	4,934	5,048
会議室	利用件数	267	△110	377	351
	利用人数	3,582	△3,120	6,702	5,133
研修室	利用件数	195	△113	308	378
	利用人数	3,379	△6,001	9,380	7,202
トレーニング室	利用件数	4,274	△11,329	15,603	15,361
	利用人数	4,274	△11,329	15,603	15,361
室内プール	利用件数	13,094	△20,755	33,849	37,721
	利用人数	31,620	△24,426	56,046	61,529
合計	利用件数	24,207	△34,764	58,971	62,343
	利用人数	123,609	△95,857	219,466	228,070

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、屋外施設は令和2年4月8日から6月1

日まで利用を中止。屋内施設は令和2年4月1日から6月8日まで利用を中止。6月9日より段階的に利用を再開。令和3年1月5日から3月21日まで屋内施設は新規予約の受付を中止。トレーニング室及び室内プールの一般利用を中止。

### ■教室等の自主事業実施状況

教室名	2年度A	増減 A-B	元年度B
水泳	19,158	△8,788	27,946
テニス	4,009	△1,588	5,597
体育	1,292	△723	2,015
新体操	720	△221	941
フットサル	1,219	△239	1,458
バスケットボール	833	△550	1,383
バドミントン	326	△152	478
健康教室	1,630	612	1,018
ヨガ	1,122	△557	1,679
卓球	841	△533	1,374
ラージボール卓球大会	0	△415	415
60才から始める健康プログラム	0	△504	504
60才以上の体力測定	0	△17	17
その他大会・教室	247	△751	998
合計	31,397	△14,426	45,823

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、屋外施設は令和2年4月8日から6月1日まで利用を中止。屋内施設は令和2年4月1日から6月8日まで利用を中止。6月9日より段階的に利用を再開。自主事業は施設利用再開後、感染症対策を実施した上で段階的に実施。

### ■施設の主な工事等

内 容	金額（円）
総合運動公園テニスコート改修工事	6,490,000
総合運動公園外灯LED化改修工事	6,116,000
総合体育館給湯設備改修工事	3,273,600

### ■新型コロナウイルス感染症拡大防止のための改修工事

内 容	金額（円）
総合体育館内部壁クロス張替工事	4,241,160
総合体育館プール棟男女更衣室全熱交換器更新工事	1,645,600
総合体育館内全熱交換器及び換気扇交換修繕工事	635,800
総合体育館男女更衣室シャワールーム換気扇新設工事	550,000

## [成 果]

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも12万人以上の方に施設を利用していただきました。

また、外灯のLED化や経年劣化の激しかったテニスコート3面の張替工事等を実施した他、新型コロナウイルス感染症対策として、更衣室等の屋内施設の換気系設備更新工事や体育館内の壁を抗菌効果のあるクロスにする張替工事を実施しました。

## 社会体育施設維持管理事業

[生涯学習室]

決算書 P186

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,155,000	3,981,670	499,000	0	0	451,750	3,030,920

## [主な実施内容]

### ■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和2年度は305日開所し、41,473人が利用しました。

		2年度 A	増減 A-B	元年度 B	30年度
前原グラウンド	利用件数	309	△20	329	336
	利用人数	7,059	△529	7,588	8,650
東 条 原 グ ラ ウ ンド	利用件数	351	31	320	343
	利用人数	4,358	△1,155	5,513	6,320
東グラウンド	利用件数	494	206	288	361
	利用人数	5,104	△77	5,181	7,931
宮東グラウンド	利用件数	506	△185	691	633
	利用人数	10,076	△2,121	12,197	17,052
宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利用件数	1,285	△307	1,592	1,642
	利用人数	12,355	△1,409	13,764	15,516
山 崎 ア ー チェ リ ー 場	利用件数	2,521	110	2,411	2,031
	利用人数	2,521	110	2,411	2,031
合 計	利用件数	5,466	△165	5,631	5,346
	利用人数	41,473	△5,181	46,654	57,500

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月8日から6月1日まで利用。

## [成 果]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの施設で利用件数が減少しました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
770,000	412,712	0	0	0	0	412,712

### [主な実施内容]

#### ■第48回町民体育祭

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的にしています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

#### ■町民スポーツ大会

297,230円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を実施しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの大会が中止となりましたが、3種目を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7～8月	総合運動公園野球場	18チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	中止
ソフトテニスの部	開催なし	総合運動公園テニスコート	—
ソフトボールの部	9～10月	総合運動公園ソフトボール場他	15チーム
サッカーの部	10～11月	総合運動公園多目的広場	3チーム
剣道の部	6月	総合体育館メインアリーナ	中止
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	中止
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	中止
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	中止

#### ■第38回宮代町綱引大会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月6日(日)	総合体育館メインアリーナ	中止

#### ■少年少女スポーツ振興事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツ フェスティバル	6月21日(日)	総合体育館 メインアリーナ	中止
ロードレース大会	2月13日(土)	総合運動公園	中止

## ■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第22回ファミリーハイキング 10月26日(土)	秩父方面	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めます。	中止
第46回年少者スキー教室 1月9日(土)～10日(日)	日光湯元温泉 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	中止
さいかつぼーる体験 5～2月(8月を除く)	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。(年間9回開催)	中止
あそびと運動(トライ) 5～6月(春季) 10～11月(秋季)	総合体育館 サブアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施します。(各季5回)	中止
あそびと運動(チャレンジ) 5～2月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施します。(13回)	中止

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、すべての事業が中止。

## [成 果]

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、すべての事業が中止となりましたが、コロナ禍でスポーツ活動が思うようにできていない方のために、スポーツを見て楽しんでいただけるよう、「さいかつぼーる」の紹介をする解説動画を1月20日に公開しました。



2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
945,000	785,701	0	0	0	300,000	485,701

### [主な実施内容]

#### ■文化財保護委員会の運営

167,900円

文化財の指定を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。

#### ■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を令和元年度に引き続いて実施しました。

#### ■文化財案内板等の設置

407,000円

ふるさと納税を活用し、遍照院（字金原地内）に、その歴史や由来を記した案内板を設置しました。（ふるさと歩道の盤面交換）また、国登録有形文化財となった百間小学校すべり台について登録プレートの設置を行いました。さらに、町の歴史を示す貴重な石碑の散逸を防ぐため、百間2丁目にあった「桜花碑（おうかひ）」を資料館敷地内に移動しました。

#### ■指定文化財保存事業への補助

24,000円

指定文化財を保護、保存することを目的に、指定文化財所有者に対し補助を行いました。

また、当該設備において点検時に不具合が発見されたため、部品交換修繕工事に対して補助を実施しました。

埼玉県指定有形文化財五社神社本殿 防災設備保守点検、緊急修繕

### [成 果]

文化財案内板を設置することで合計41基となり、これまで設置したものと合わせて多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。また、百間小学校すべり台における国登録有形プレートですべり台脇に設置することにより、より多くの方に周知できるようになりました。なお、開催予定であった各種講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,814,000	10,767,905	1,608,000	804,000	0	0	8,355,905

### [主な実施内容]

#### ■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計51件の照会がありました。

#### ■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93・94条の規定に係る発掘届が17件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

##### (1) 発掘届の原因

項目	件数
個人住宅	9
貸店舗	2
分譲住宅	1
ブロック塀設置	1
駐車場	4

##### (2) 指示事項

項目	件数
工事立会	6
慎重工事	10
本調査	1

#### ■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

1,259,371円

土地10件(合計約300㎡)の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項目	件数
個人住宅	6
貸店舗	2
分譲住宅	1
工場設備設置	1

#### ■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、昭和63年度地蔵院遺跡第1次調査では報告書の刊行に向けて調査成果の執筆、図版の最終確認などを実施しました。平成29年度道仏遺跡、平成29年度・令和元年度姫宮神社遺跡調査では出土遺物の図面作成作業を実施しました。平成26年度地蔵院遺跡調査ではトレース作業、仮図版作成などを実施しました。

#### ■埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行

1,198,395円

昭和63年度地蔵院遺跡第1次発掘調査の成果を「宮代町文化財調査報告書第24集 地蔵院遺跡(第1次)」として3月に刊行しました。

## **[成 果]**

これまでに実施した発掘調査における調査報告書を刊行するための準備として、遺物や図面の整理作業を進めることができました。また、昭和63年度に行った地藏院遺跡（第1次）調査については、宮代町文化財調査報告書第24集として刊行することができました。

2年度予算 (円)	2年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
56,461,000	54,633,104	850,000	0	0	27,990,000	25,793,104

### [主な実施内容]

#### ■郷土資料館の利用状況

令和2年度は、174日開館しました。

2年度 A	増減 A-B	元年度 B	30年度
4,806人	△6,038人	10,844人	12,678人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため4、5月の2か月及び1月から3月21日まで休館。

#### ■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等20件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約400冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

#### ■展示 町の歴史、文化の紹介

282,688円

区分	内容	期間	入館者数
特別展	「資料館のあしもと 地蔵院遺跡展～考古学のいろは～」	令和元年10月 ～令和2年5月	1,783人
企画展	「宮代の遺跡～土の中の文化財～」	令和2年3月～7月	864人 (4～7月分のみ)
	「館蔵資料に見る戦争の記憶」	令和2年7月～10月	2,175人

#### ■各種講座・体験学習教室

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、講座はすべて中止となりました。

行事名	対象
夏休み体験学習「郷土資料館へ行こう！」	小・中学生
土器づくり教室	小・中学生
かやぶき民家で聞く昔話	小学生以上
移築民家と「アタラシイ」ゲキ17	一般
琵琶の調べ	一般
歴史講座「埼玉東部の民俗 東部地区の祭礼行事2」	一般

#### ■資料整理

175,984円

1. 町内から寄贈された古文書や歴史資料の整理を実施しました。

2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理、目録化等を実施しました。

#### ■普及、啓発

学校教育との連携により、受入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校から2回の依頼があり、対応しました。
2. 博物館学芸員実習生の受け入れについて1人を受け入れました。
3. 団体利用が3件ありました。
4. 職員派遣申請が2件あり、職員の派遣を実施しました。
5. 資料の館内利用が4件ありました。

■郷土資料館屋上防水工事 13,398,000円  
郷土資料館の屋上において、防水工事を実施しました。

■郷土資料館外溝整備工事 32,282,800円  
敷地の一部返還に伴う、駐車場、フェンスなどの敷地内設備の移設及び改修の工事を行いました。

### [成 果]

令和2年度は、新型コロナウイルス感染性の感染拡大防止の観点から、臨時休館する期間が多く、特別展や企画展の回数や日数が例年と比べ変則的になり、予定していた講座やイベントは、すべて中止となりました。

特別展は「資料館のあしもと 地蔵院遺跡展～考古学のいろは～」を開催、郷土資料館・西原自然の森・百間小学校といった敷地周辺に広がる地蔵院遺跡について、これまでの発掘調査の成果や遺跡の特徴、出土した遺物などを紹介しました。企画展は、前年度から引き続き開催していた「宮代の遺跡～土の中の文化財～」について4月から5月にかけて臨時休館のため、会期を7月まで延長しました。また、7月からは「館蔵資料に見る戦争の記憶」を、第2会場として図書館の展示ホールにおいて「～75年前のみやしろ～戦争と平和展」も開催し、太平洋戦争下における人々の暮らしについて、残された資料をもとに検証し、紹介しました。